



病児保育所おひさまルームは山形済生病院に併設しています。
感染予防対策の情報を発信していきます。

テーマ：抗原検査について

【はじめに】

今シーズンはインフルエンザが非常に多いシーズンになりました。インフルエンザや新型コロナウイルスなどの感染症の検査に「抗原検査」という検査があります。よく耳にするこの抗原検査について、基本的な仕組みと特徴を解説します。

【抗原検査とは？】

抗原検査は、ウイルスの一部（抗原）を調べることで感染の有無を判定する検査方法です。検査キットの中には、ウイルスを見つけ出す特殊な物質（抗体）が入っており、これがウイルスと出会うと目に見える線となって表示されます。

【検査の特徴】

①素早く結果が分かる

- ・通常15～30分程度で結果が出ます
- ・その場で感染の可能性が分かるため、早めの対応が可能です

②使い方が比較的簡単

- ・鼻の奥や喉から検体を採取します
- ・専用の液と検査キットを使って判定します

③注意点**

- ・感染初期は検出できないことがあります（インフルエンザは症状が出てから約1～2時間後の検査を推奨）
- ・陰性でも完全に感染を否定できるわけではありません
- ・確定診断には医療機関での検査が必要です

【検査結果の見方】

①陽性の場合＝線が2本見える

- ・ウイルスが検出されたことを示します
- ・医療機関に相談しましょう

②陰性の場合＝線が1本だけ見える）：**

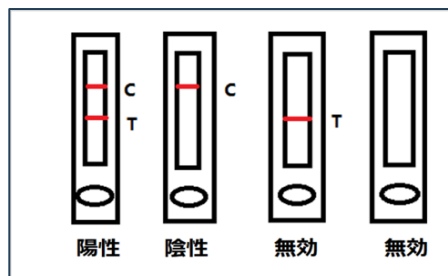
- ・その時点でのウイルス量が少ないか、検出できない状態を示します
- ・症状がある場合は、医療機関に相談することをお勧めします

【大切なポイント】

この検査は補助的な判断材料です。体調不良の際は、検査結果に関わらず、医療機関に相談することが推奨されます。検査結果が陰性でも、基本的な感染対策は継続することが重要です。

【まとめ】

抗原定性検査は、感染症対策の一つの手段として有用ですが、完璧な方法ではありません。症状や状況に応じて、適切な判断と対応を心がけましょう。



おひさまルーム保育室

山形済生病院 病児保育所



おひさま ルーム

〒990-0818 山形市沖町79番3

TEL・FAX： 023-674-8856

HP： <https://www.ameria.org>

開設日： 月曜日から金曜日
(祝日・年末年始除く)

8：30～17：00

対象児： 1歳から小学校6年生

配置職員：看護師・保育士

